

「後期高齢支援システム標準化検討会市町村 WT」

第 8 回議事概要

【日時】：令和 7 年 1 月 17 日(金)10:00～12:00

【場所】：オンライン会議(Zoom)

【出席者(敬称略)】：

(座長)

後藤 省二 株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長

(構成員)

小矢島 恵子 佐野市健康医療部医療保険課長寿医療係 係長

桃井 彰 渋谷区区民部国民健康保険課高齢者医療係 主事

川嶋 裕士 江戸川区健康部医療保険課高齢者医療係 主査

境口 円香 宇土市市民環境部市民保険課国保年金係 主事

登 大輝 鹿児島市健康福祉局すこやか長寿部長寿支援課
後期高齢者医療係 主任

(オブザーバー)

米田 圭吾 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム 統括官付参事官付参事官補佐

中川 瑛 総務省自治行政局デジタル基盤推進室 課長補佐

山本 喜一 厚生労働省保険局高齢者医療課 高齢者医療指導調整官

島添 悟亨 厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐

吉本 明平 一般財団法人全国地域情報化推進協会企画部 担当部長

【議事次第】

1. 開会の挨拶
2. 標準仕様書 1.3 版に向けた各種課題の対応について
3. 質疑応答
4. 今後の予定及び依頼事項について

【意見交換(概要)】

(標準仕様書 1.3 版に向けた各種課題の対応について)

○ (2.2 (2) マイナンバーカードと保険証の一体化に伴う対応)

- ・ 本市では、被保険者証の返戻管理をシステムで行っていた。資格確認書などの返戻管理機能について 1.3 版(案)にないため、規定していただきたい。(委員)

⇒ 従前の標準仕様書にも被保険者証の返戻管理に係る機能の規定はなかったため、1.3 版（案）においても同様に規定していない。（事務局）

○ （2.2（4）子ども・子育て支援金制度対応）

- ・ 帳票レイアウトの内、保険料額決定通知書について、保険料を医療分・子ども支援金分を 2 段に分けて表示する必要があるか。（委員）

⇒ 被保険者に対する保険料の示し方は、こども家庭庁・厚労省と協議したところである。その中で、子ども支援金分の保険料額を、医療分とは分けて示してほしい旨の意見をいただいた。（事務局）

⇒ 承知した。（委員）

- ・ A4 用紙 2 枚で印刷する場合、年次処理の関係で印刷した際に差替えが発生することも想定されるため、2 枚目にも被保険者情報の印字は必要であると考え。また論点①について、用紙を送付する際のコストや事務負担を考慮すると、A4 用紙 1 枚を必須にし、A4 用紙 2 枚をオプションに規定するのが良いと考える。（委員）

⇒ 自治体によって、納入通知書の用紙サイズ、送付枚数はさまざまであることは承知しているため、ご意見として頂戴する。本会議にご参画いただいている他の自治体様の意見も伺わせていただきたい。（事務局）

⇒ 本区では A3 用紙 1 枚で運用している。標準化以降の運用は具体化していないが、保険料額決定通知書に子ども支援金分の項目が追加されることや視認性を考慮すると A3 用紙 1 枚で運用するのが良いと考える。（委員）

⇒ 本区では A4 用紙 1 枚で運用している。子ども・子育て支援金制度対応を受けて、今後、A4 用紙 1 枚で運用していくことは現実的ではないため、A4 用紙 2 枚を必須にさせていただいた方が良いと考える。（委員）

⇒ 担当外のため詳細は分からないが、枚数が増えるとトラブルも増えるため、A3 用紙 1 枚の運用が良いと考える。担当と確認させていただきたい。（委員）

⇒ 本市では A4 用紙 1 枚で運用している。印刷機、封入機を考慮すると標準化以降も A4 用紙で対応することを考えている。現行において、裏面に印刷していた算定根拠については、別の用紙に印字するなどして対応することを検討している。（委員）

⇒ 帳票レイアウトの運用は自治体によって様々である旨、承知した。第 8 回検討会及び 2 月の全国意見照会へは、事務局案のままとさせていただき、各自治体のご意見を踏まえて 3 月末公開に向けて検討させていただく。（事務局）

（今後の予定及び依頼事項について）

○ （今後のスケジュールの確認）

- ・ 事前に送付した標準仕様書（案）において、ご意見がある場合は、1/23（木）までに事

務局へ提出いただきたい。また、第9回の市町村WTにおいては、ベンダ分科会と合同で3/14（金）13:30～15:30に開催する方針である。（事務局）